

「<資産運用コンサルティングのポイント Vol7 ～金融機関勧める積み立て投資とドルコスト 平均法で資産形成～単なるドルコストでは意 味がない～前篇～>」



株式会社 ZUU の富田和成です。前回までは、株主優待を期待した投資の有用性とその注意点についてみてきました。今回からは NISA 制度のスタート以来、金融機関が提案に力を入れているドルコスト平均法の理論を活用した毎月積立投資についてみていきたいと思ひます。

NISA に限らず、投資を始めるにあたって、「ドルコスト平均法」がファイナンシャルプランナーや金融機関などからよく勧められています。ドルコスト平均法は株式や為替、投資信託などを、定期的に一定金額を購入することにより平均購入単価を下げることが目的にした投資方法です。ドルコスト平均法では株価が高いときには少なく、逆に株価が安いときには多くの株数を購入するので、平均購入株価が下がる有利な投資方法であると一般的にいられています。毎月一定の金額でルール通りに買うので、気楽に投資を継続したすいのも長所だといいられています。巷でいられているようにドルコスト平均法が絶対有利で確実な投資方法なのか、詳しくみていきたいと思ひます。

■ドルコスト平均法のメリット

ドルコスト平均法は一定間隔で定額で同じ商品を買ひ付ける投資法です。例えば毎月 1 日に 3 万円づつ購入するというようなルールで、株式などを購入し続けます。株価が 3000 円の月は 10 株購入できます。株価が 300 円の月は 100 株購入できます。毎月買ひ続けることにより、安いときは沢山買ひ、高いときは少しだけ買ひ、平均購入株価を下げるのがメリットとなります。

またドルコスト平均法の別のメリットとしては、ルールにもとづいて機械的に購入するので自分で逐一相場を分析したり判断する必要がないことです。もちろん安いときに買ひ、高くなったら売れば最も効率よく投資へのリターンも見込めますが、人間には欲や焦りといった弱点もありますから、売買の判断が狂ってしまひ大きく損失をだすこともあるのです。自分で「相場判断」を行わずに機械的に投資を行いたい人には、ドルコスト平均法は有利といえます。将来どう値が動くかわからない金融商品のリスクに対し、欲や恐れに打ち勝つ手法ともいえます。

■銘柄を分散することの重要性

ただ、好きな銘柄に投資すればいいという話ではありません。少額投資であれ、毎月積み立てであれ、どこを投資対象にするのか考えることは大切なことです。ドルコスト平均法でも、銘柄を分散することがリスク分散につながります。資産分散をするとパフォーマンスの良い資産クラスと悪い資産クラスの双方の値動きが相殺されます。現在はETFのように、日本国内はもとより、新興国株式や先進国株式、債券、REITといったあらゆる対象に分散投資できる便利な商品も販売されていますから、上手に活用してリスク分散をはかっていくようにすることも重要になります。

今回は、ドルコスト平均法の注意点などについてみていきます。

<著者プロフィール>

富田和成 株式会社ZUU 代表取締役社長兼 CEO

http://zuu.co.jp/company/ceo_message

大学在学中にソーシャルマーケティングにて起業。2006年に一橋大学を卒業後、野村証券株式会社に入社。支店営業にて同年代のトップセールスや会社史上最年少記録を樹立し、最年少で本社の超富裕層向けプライベートバンク部門に異動。その後シンガポールへの駐在とビジネススクールへの留学やタイへの駐在を経て、本店ウェルスマネジメント部で金融資産10億円以上の企業オーナー等への事業承継や資産運用・管理などのコンサルティングを担当。その後、野村証券を退職し、富裕層・準富裕層向けに金融を切り口としたZUU onlineや不動産を切り口とした不動産onlineを運営する株式会社ZUUを設立。また、エグゼクティブ向け資産アドバイザーの検索・比較サイトZUU Advisorsを運営している。」

参考：ZUU Advisors：<http://zuuadvisors.com/>

：ZUU online：<http://zuoonline.com/>



◇今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP実務研究会事務局では、FP実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP実務研究会事務局【㈱日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488